

緩和ケアの提供体制に関する調査票

病院名

回答責任者

連絡先

問1. 苦痛のスクリーニングについて伺います。該当する□にチェックを入れてください。

※ がん診療連携拠点病院は回答不要です。

- 入院患者のスクリーニング用紙がある
- スクリーニング用紙はないが、聞き取りの設問項目がある
- その他( )

問2. 平成28年7月1日時点の緩和ケアチームの設置状況について伺います。

該当する□にチェックを入れてください。

※ がん診療連携拠点病院及びがん診療連携協力病院は回答不要です。

- 組織上位置付けられた緩和ケアチームがある
- 組織上の位置付けはないが、必要に応じて緩和ケアチームを編成する
- 緩和ケアチームはないが、緩和ケアを提供している

※ ここでいう「緩和ケアチーム」とは、診療報酬上の基準や、がん診療連携拠点病院・がん診療連携協力病院の指定要件にかかわらず、病院内で「緩和ケアチーム」として認知され、活動しているチームを指す。(以下の問いについても同様)

問3. 緩和ケアチームを設置している全ての医療機関に伺います。

平成28年7月1日時点の緩和ケア診療加算の届出状況について、該当する□にチェックを入れてください。

- 算定している
  - 算定していない
- 理由 ( )

問4～問7は、調査票をお送りしている全ての医療機関の方にお伺いします。

問4. 平成28年7月1日～7月31日の新入院がん患者の苦痛のスクリーニングについて伺います。それぞれ人数を御記入ください。

項目	人数	概数※2
新入院がん患者数(緩和ケア病棟の新入院がん患者を除く) ※1		
うち、入院時スクリーニング実施者		
うち、スクリーニングで陽性となった人数		
うち、緩和ケアチームの介入患者数		

※1 がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上する。

対象期間に複数回入院した場合は、それぞれカウントする。例えば7月中に2回入院した場合は、2人とカウントする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。

※2 正確な人数を記入することが困難な場合は、概数(おおよその数)でよい。

注) 把握していない項目は「把握なし」と記入してください。

問5. 平成28年7月1日～7月31日の新入院がん患者のうち、苦痛のスクリーニングで陽性となり、新規に緩和ケアチームが介入した患者の症状緩和について伺います。

緩和ケアチームへの紹介時の状況 (介入前)		緩和ケアチーム介入後の状況 (介入後)		
苦痛の区分 ※3	人数	改善あり	改善なし	その他 ※4
身体症状				
精神症状				
その他				

※3 苦痛の区分は、スクリーニングの結果確認された主たる苦痛とする。  
「身体症状」、「精神症状」に区分できない場合は、「その他」に計上する。

※4 「その他」は、「改善あり」「改善なし」のどちらにも該当しない場合、判断ができない場合、効果未判定の場合に計上する。

注) 把握していない項目は、「把握なし」と記入してください。

問6. 平成28年7月1日～7月31日の新入院がん患者のうち、苦痛のスクリーニングの陽性者以外で、新規に緩和ケアチームが介入した患者の症状緩和について伺います。

緩和ケアチームへの紹介時の状況 (介入前)		緩和ケアチーム介入後の状況 (介入後)		
診療依頼内容 ※5	人数	改善あり	改善なし	その他 ※6
身体症状				
精神症状				
その他				

※5 緩和ケアチームへの紹介時の主たる診療依頼内容を「身体症状」、「精神症状」に区分して計上する。区分できない場合は、「その他」に計上する。

※6 「その他」は、「改善あり」「改善なし」のどちらにも該当しない場合、判断ができない場合、効果未判定の場合に計上する。

注) 把握していない項目は、「把握なし」と記入してください。

問7. 平成28年7月1日～7月31日の新入院がん患者(緩和ケア病棟の新入院がん患者を除く)  
(問4※1)の転帰について伺います。  
退院患者については、退院患者数と退院時点の転帰の内訳を御記入ください。  
入院継続患者については、7月31日時点で入院が継続となっている患者数を御記入ください。

退院患者数	(内訳)退院時点の転帰						入院継続患者数
	転院 (病院)	転院(緩和ケア病棟)		高齢者施設	在宅※7	外来	
		(院内)	(院外)				

※7 ここでいう「在宅」とは、在宅医の訪問を受けていることとする。  
注) 複数回入退院をされた場合は、それぞれの退院について御回答ください。  
把握していない場合は、「把握なし」と記入して下さい。

問8. 問7で死亡退院となった患者の死亡場所について伺います。それぞれ人数を御記入ください。

死亡場所	人数
一般病棟	
緩和ケア病棟	
その他	

注) 把握していない項目は、「把握なし」と記入してください。

これ以下(問9～問16)は、緩和ケア病棟を有する病院のみ御記入ください。

注)ここでいう緩和ケア病棟とは、緩和ケア病棟入院料届出施設をいう。

問9. 緩和ケア病棟の年間新入院患者(平成27年1月1日から12月31日)について伺います。

項目	人数
緩和ケア病棟の年間新入院がん患者数 ※8	

※8 対象期間に複数回入院をした場合は、それぞれカウントする。  
例えば、対象期間中に2回入院した場合は、2人とカウントする。

注) 把握していない項目は、「把握なし」と記入してください。

参考) 拠点病院等の方は、現況報告書の様式4(機能別)で「緩和ケア病棟の年間新入院患者数」を報告いただきますので、御確認ください。

問10. 平成28年7月1日～7月31日の緩和ケア病棟の新入院がん患者について伺います。新入院がん患者数と入院前の居所(どこから緩和ケア病棟に入院となったか)についてそれぞれ人数を御記入ください。

新入院 がん患者数	(内訳) 入院前の居所				
	同病院 (一般病棟)	他病院	高齢者施設	自宅	その他

注) 把握していない項目は「把握なし」と記入してください。

問11. 平成28年7月1日～7月31日の緩和ケア病棟の新入院がん患者の入院理由について伺います。該当する項目に、それぞれ人数を御記入ください。(複数回答)

緩和ケア病棟への入院理由	人数
看取りを行うため	
がんの進行に伴う症状の緩和のため	
在宅療養(施設・家庭)に向けて支援体制を整えるため	
家族の休息のケア(レスパイト)のため	
在宅療養(施設・家庭)での介護が困難となったため	
その他	
(その他理由)	

注) 把握していない項目は、「把握なし」と記入してください。

問12. 苦痛のスクリーニング陽性者で、平成28年7月1日～7月31日の緩和ケア病棟の新入院がん患者の症状緩和について伺います。該当する項目にそれぞれ人数を御記入ください。

緩和ケア病棟入院時の状況		緩和ケア病棟入院後の状況		
苦痛の区分 ※9	人数	改善あり	改善なし	その他 ※10
身体症状				
精神症状				
その他				

※9 苦痛の区分は、スクリーニングの結果確認された主たる苦痛とする。  
「身体症状」、「精神症状」に区分できない場合は、「その他」に計上する。

※10 「その他」は、「改善あり」「改善なし」のどちらにも該当しない場合、判断ができない場合、効果未判定の場合に計上する。

注) 把握していない項目は、「把握なし」と記入してください。

問13. 平成28年7月1日～7月31日の緩和ケア病棟の新入院がん患者について伺います。  
緩和ケア病棟入院時と入院後のせん妄の状況について、それぞれ人数を御記入ください。

緩和ケア病棟入院時の状況		緩和ケア病棟入院後の状況	
せん妄あり		改善あり	改善なし
せん妄なし		せん妄の出現なし	せん妄の出現あり
その他 ※11			

※11 「その他」はせん妄の有無について、どちらにも該当しない場合、判断ができない場合に計上する。

注) 把握していない項目は、「把握なし」と記入してください。

問14. 平成28年7月1日～7月31日の緩和ケア病棟の新入院がん患者の転帰について伺います。  
退院患者については、退院患者数と退院時点の転帰の内訳を御記入ください。  
入院継続患者については、7月31日時点で入院が継続となっている患者数を御記入ください。

退院患者数	(内訳)退院時点の転帰					入院継続患者数
	転院 (病院)	高齢者施設	在宅※12	外来	死亡退院	

※12 ここでいう「在宅」とは、在宅医の訪問を受けていることとする。

注) 複数回入退院をされた場合は、それぞれの退院について御回答ください。  
把握していない場合は、「把握なし」と記入して下さい。

問15. 平成27年1月1日～12月31日までの緩和ケア病棟の稼働率と平均在院日数を御記入ください。

稼働率	%	平均在院日数	日
-----	---	--------	---

問16. 平成28年7月1日現在の緩和ケア病棟の病床数を御記入ください。

病床数	床
-----	---